

気象研究ノート 第134号 発刊のお知らせと予約募集

気象研究ノート第134号は、5月末に発刊の予定です。定期購読者以外で申し込まれる方は、別紙の葉書を御利用ください。約330ページ、予定価格約3,500円で、内容は次のとおりです。

第134号「新しい数値予報」

1. 数値予報の歴史的展望（岸保勘三郎）
2. 基本方程式とエネルギー論（相原正彦）
3. 積雲対流のパラメタリゼーション（山岸米二郎）
4. 境界層の取り扱い（片山 昭）
5. 対射による加熱率の差分計算とその北半球分布（久

保田効）

6. 客観解析法（清水喜允）
7. 4次元同化作用とイニシャルゼーション（住 明正）
8. 数値計算上の問題（木田秀次・岡村存・近藤洋輝・菊池幸雄）
9. 数値予報プロダクトの利用（立平良三・菊地正武）
10. 予報可能性と延長予報（住 明正）

補遺 世界のオペレーショナル・モデルの現状（吉田泰治）

関西支部例会 講演要旨集 の販売について

関西支部では、3月15日大阪管区气象台で開催された、昭和52年度第3回例会の講演要旨集を刊行しました。希望者は、関西支部事務局（〒540 大阪市東区法円坂6-25 大阪合同庁舎2号館大阪管区气象台内 日本気象学会関西支部）まで申し込んで下さい（ハガキで可）。価格は、200円（送料140円）です。

発表題目、発表者は次のとおりです。

昭和52年第3回例会 講演要旨集 第8号

「しぐれ、しゅう雨、対流」

1. 「しぐれ」特別観測、総観解析と電計資料
(1977.11.10~11) 大阪 久保田利一
2. 気象衛星写真の解析—「しぐれ」特別観測期間—
大阪 古橋重利
3. 昭和52年11月11日、19日のしぐれに伴うレーダ
エコーの解析 舞鶴 成川二郎

4. 日本海南部における水気温差と沿岸部のしぐれについて
舞鶴 今井 晴

5. しぐれと総観規模現象との関連性について（昭和51年度しぐれ特別観測の解析）

気研 竹内衛夫 内山徳栄

6. 島根のしぐれ予想について 松江 伊藤正幸
7. 冬季京都府北部におけるシャワー性降水（雪）の量的予報について（主として丹後半島部）

舞鶴 堀口善一

8. 近畿北部のしぐれについて（1976.11.18~19のしぐれ）
彦根地方气象台

9. 大阪府のしぐれについて 大阪 内田浩一

10. 1976年11月のしぐれについて（高層断面図解析）
米子 川上 護 菱谷敏郎

山の気象シンポジウム開催のお知らせと講演募集

日時 昭和53年6月17日（土）13時（予定）

場所 気象庁第一会議室

講演申込先 気象庁企画課気象衛星室 中村 繁 宛

（〒100 東京都千代田区大手町 1-3-4

TEL (03) 212-8341 内線 526

申込締切 5月20日（土）

（なお、申し込みの際に講演題目および200字程度のアブストラクトを提出して下さい。）